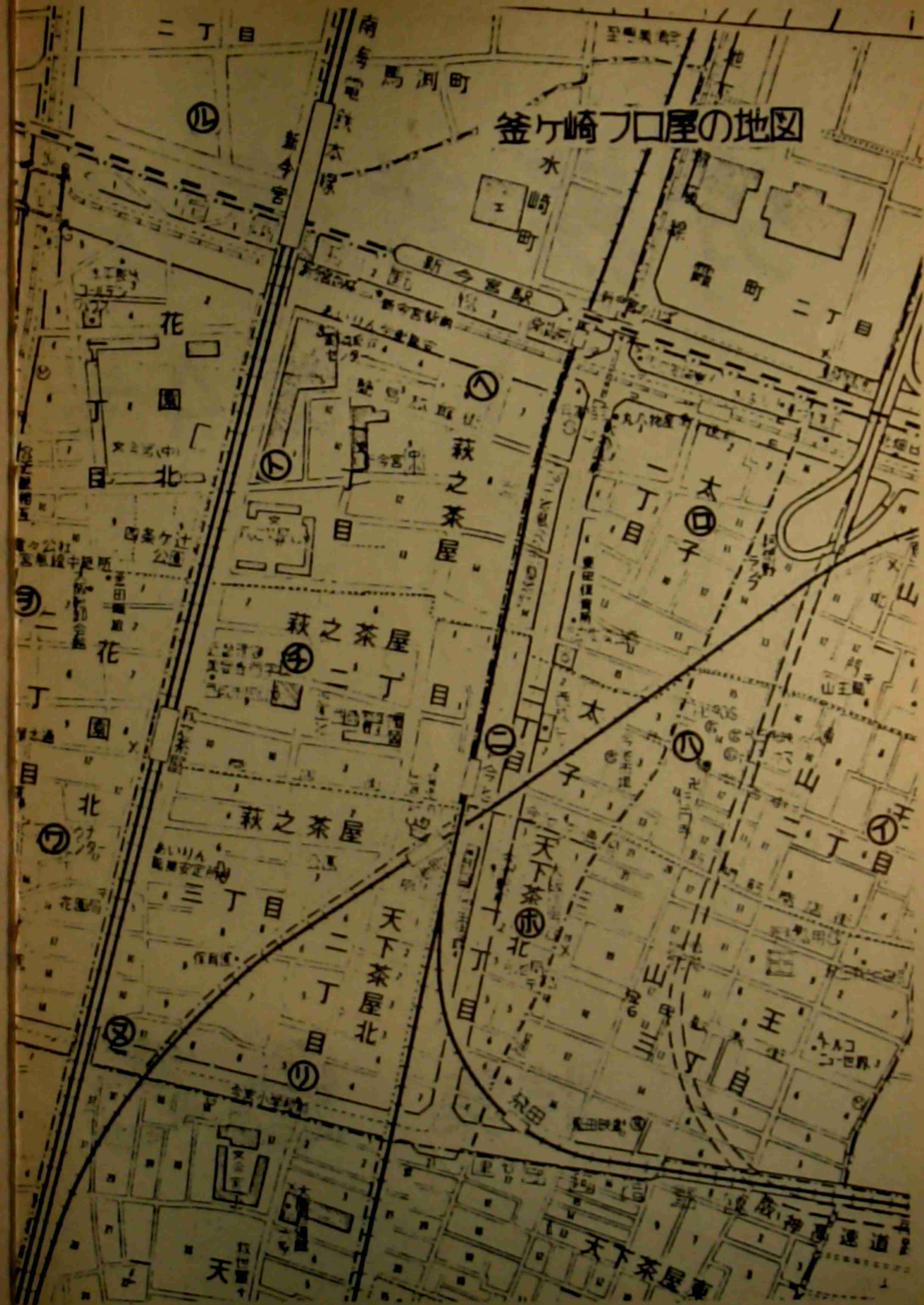


釜ヶ崎フロ屋の地図



土方殺すにや刃物はいらぬ
雨の十日も降ればよい

(杵打ちの唄)

オイト まいた、まいた、巻いてくるのは
本阿は二丁目、糸屋の娘さん
姉が二十一、妹が二十
新はいらない、妹が欲しい
妹が欲しいさに、お伊勢に七度
熊野へ三度、村の氏神
こいつは日参、オイトきけー

(杵木を高いところへ上げるときの手伝の歌)

—— 共に、吉田秀雄『日曜夜話』(平凡社、昭和十一年)